

歴代学生役員からの感想 —数回の総会を通して—

企画 WG 山本慎太郎 (2008 年度学生役員)

2010 年 6 月 19 日(土)の第 4 回国大化学会総会に参加したことによって、私は全部で 3 回の総会に参加したことになります。会を追うごとに学生数は増え、今回は合計で 50 人近く参加したようです。最初に参加したときに比べ、総会全体の活気も増しているように感じました。

しかし、現役学生と積極的に話をされている卒業生の数はまだまだ少なく、少し距離を感じています。また、懇親会自体の時間も短く、少し物足りなく感じました。まだまだ改善の余地はありそうです。例えば、普段から行っているビンゴゲームに変えて、テーブルごとに各年代の卒業生や学生を割り

振り、チームを組んでゲームに挑む。そんな企画も面白いかもしれません。学生と卒業生の間はもとより、卒業生同士の会話も弾むのではないのでしょうか。

順調なスタートダッシュを切った国大化学会も、まだまだできたての同窓会であり、変革すべき部分が多くあると思います。現役学生や、卒業したての OB が次々と会の運営に携わり始めた今、卒業生の方々には何かと無理難題をお願いすることがあるかもしれません。もしそのときは、ぜひお力添えいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

総会・懇親会に参加して

関 康一郎 (2008 年度学生役員)

感想

毎回国大化学会では、懇親会でいままで知らなかった大先輩方のお話を伺う事ができる貴重な機会が得られます。また学部時代の恩師の先生方にお会いできるので、近況報告をして先生方の元気なお姿を拝見することができるので毎年楽しみにしております。

希望・改善すべき点

総会では副学長の國分泰雄先生や旭化成の蛭田史

郎氏など、国大出身の大先輩方のお話を拝聴する機会が得られるのは嬉しい限りです。しかし、審査・結果報告に割かれる時間が少し多い気がします。講演者の方のお話を聞ける時間を 5 分でも 10 分でも良いので長くできると良いと思います。

懇親会の立食では毎年ビンゴゲームが行われます。しかし、3 回参加していますが一度も当たったことがないので、景品の数がもう少し増えると嬉しいです。

—総会の感想—

御園直樹 (2009 年度学生役員)

今回総会には出席できなかったため、懇親会についての感想を述べさせていただきます。懇親会では企業の方は、現在在勤・または退職した企業名を記載していただくという、新たな試みを行いました。これは学生が今後就職活動を行っていく上で役に立つような情報交換を目的としたものであり、試みとしては非常によかったと思います。しかし、懇親会の会場を見渡してみると、学生と企業に勤めているOBの方とが情報交換を行っている姿はあまり見られず、この試みがうまく機能しなかったと思います。しかし、この試みは学生にとっては魅力的なものであると思うので、学生が気軽にOBの方々に話

しかけられる環境づくりが今後の課題になってくると思います。そこで私が提案するのは、企業に勤めているまたは勤めていた出席者の方にあらかじめ簡単な自己紹介や業務内容を提出いただき、それをまとめた資料などを学生に配布するなどして、話のきっかけなどを作ると良いと思います。話は聞きたいけれど、何から話していいのかわからないという学生は少なからずいると思います。今後就職活動を控えている学生にとって、この懇親会はOBの方々の話が聞ける貴重な機会であると思います。よって今後改善を重ねていくことで、この総会・懇親会が有意義なものにしていけたらと私は思います。